

飲食店向け新サービス「Smart Menu」β版を本日公開 with after コロナに来店客との接触回数を削減する電子メニュー化サービス 本日から期間限定無料提供スタート

おいしい一皿が集まるグルメコミュニティアプリ「SARAH（サラ）」を運営する株式会社 SARAH(本社：東京都、代表取締役：高橋洋太)は、本日2020年5月28日、飲食店向け電子メニュー化サービス「Smart Menu（スマートメニュー）」β版をローンチしました。本日より全国の飲食店向けに期間限定で無料提供を開始します。



■開発背景と「Smart Menu」の特徴

新型コロナウイルス感染拡大をきっかけに客足が遠のき、全国規模で経営難に陥る飲食店が増加しています。先日緊急宣言が解禁され、休業していた飲食店も徐々に営業再開はしているものの、除菌の徹底や、お客さん同士の間隔を開けるなど、感染防止の工夫が求められています。

そんな中で店舗に設置している、紙メニューが新たな感染源になる可能性が示唆されています。「Smart Menu」は従来の紙メニューを電子メニュー化することで、飲食店内でホールスタッフとお客さんの接触頻度を下げるだけでなく、来店したお客個人のスマートフォンで閲覧するため、紙メニュー使いまわさず、新型コロナウイルスの感染防止につなげることができます。

■「Smart Menu」発行～使い方（飲食店側）

特設 WEB フォームもしくは電話から Smart Menu 事務局にお問い合わせいただく

↓
既存の紙メニュー画像と料理画像データを送付いただき、事務局で電子メニューを作成

↓
電子メニューが閲覧できる QR コードを発行し、飲食店側にデータ、印刷したステッカー（郵送）を提供

↓
電子メニューが閲覧できる QR コードを店舗の各テーブルに貼っていただく

※飲食店用申込フォーム

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeLI3-DFCvngmgcAqgBEszt0NBZI02N5Exj6c4PMD1bjh4-cQ/viewform?usp=sf_link

■「Smart Menu」の使い方（お客側）

来店

↓
席についたらテーブルに貼られている QR コードをスマートフォンなどで読み込む

↓
WEB 上で電子メニューを閲覧できるので、食べたいメニューを選ぶ

■実績

今回のβ版ローンチに先駆け、今年の3月から都内の飲食店を中心に30店舗にテスト導入を行いました。

(導入例)

「3nD CAFE+BAR(サンド カフェプラスバー)」(神奈川県藤沢市)



「Smart Menu」で電子メニュー化したイメージ

■今後の展開に関して

今年の夏に向けて正式版を開発中です。

正式版では、来店顧客のデータを飲食店で管理できるようになります。SARAH のデータと組み合わせることで、顧客ごとにおすすめのメニューを表示することができ、客単価の向上に貢献したいと考えています。

また、来店顧客に対して再来店を促す事ができるマーケティング機能も実装予定です。

■株式会社 SARAH 会社概要

社名：株式会社 SARAH

代表取締役：高橋洋太

設立：2014年12月1日

資本金：4億6千万円

所在地：東京都台東区浅草橋 2-25-10 チャコペーパービル 2F

HP：<https://corporate.sarah30.com/>

事業内容：

・グルメコミュニティアプリ「SARAH」の企画・開発・運営

SARAH (iOS)：<https://itunes.apple.com/jp/app/id916083595>

SARAH (Android) <https://play.google.com/store/apps/details?id=com.sarah30.android>

SARAH (Web)：<https://sarah30.com/>

・外食ビッグデータ分析サービス「Food Data Bank」の企画・開発・運営

Food Data Bank：<https://fooddatbank.net/>

【飲食店関係者連絡先】

Smart Menu 事務局 増田

Mail：masuda@sarah30.com Tel：080-3391-1501

【メディア関係者連絡先】

広報担当 中嶋

Mail：nakajima@sarah30.com Tel：080-7315-9463